

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0403018

政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	22	住民主体のまちづくりの推進	事業優先度	B		
単位施策	1	地域づくり活動の促進	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	雄武町自治会連合会補助事業		見直し年度			
事業期間	平成20年度～平成24年度		担当課	4	住民生活課	
事業主体	町		関係課	#N/A		
事業指標	団体の安定運営		関係課	#N/A		
事業目標	1団体		ハード/ソフト事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	1	自治会連合会への加盟	関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計 画 内 容	雄武町自治会連合会補助事業	自治会連合会補助金	自治会連合会補助金	自治会連合会補助金	自治会連合会補助金	自治会連合会補助金	
	自治会相互の連携を図り、その活動を通じて住民生活の向上を図るもので、今後加盟する自治会を増やし、行政と単位自治会との連携協力活動を推進する。 ※現在23自治会加盟。						
計 画 事 業 費	事業費(千円)	1,250	250	250	250	250	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	1,250	250	250	250	250		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,250	250	250	250	250	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	1,250	250	250	250	250		
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)						
	【評価・実績】	(実施内容等) 市街地区敬老会の開催や自治会の実態調査を行うなどの活動を行っており、単位自治会の連携・協力を推進している。 (現在22自治会加盟) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 市街地区敬老会の開催や自治会の実態調査を行うなどの活動を行っており、単位自治会の連携・協力を推進している。 (現在22自治会加盟) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 市街地区敬老会の開催や自治会の実態調査を行うなどの活動を行っており、単位自治会の連携・協力を推進している。 (現在22自治会加盟) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 市街地区敬老会の開催や自治会の実態調査を行うなどの活動を行っており、単位自治会の連携・協力を推進している。 (現在22自治会加盟) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 市街地区敬老会の開催や自治会の実態調査を行うなどの活動を行っており、単位自治会の連携・協力を推進している。 (現在22自治会加盟) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	1団体	1団体	1団体	1団体	1団体
	年度達成率	100%	100%	100%	100%	100%	
	全体達成率	20%	40%	60%	80%	100%	
事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆		

事業名	雄武町自治会連合会補助事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	渡邊 孝司
		評価者 作成者 職氏名	住民活動係長	南 慎一

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町自治会連合会	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	自治会連合会数、連合会加盟率	
【抱える課題やニーズは】	加盟率が3/4にとどまっております、全自治会の集合体とはなっていない。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町内の全自治会が加盟する単位自治会の集合体として、地域づくりの一翼を担う組織として機能する。	① 連合会加盟率 加盟自治会/町内全自治会	目標年度	平成24年度
			目標値	29 団体
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	各単位自治会のまとめ役として、行政との連携や自治会間の問題解決を図る組織となる。	② 連合会加盟率 加盟世帯数/町内自治会 加盟全世帯数	実績値	22 団体
			達成度	75.9 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	運営費補助金の交付	安定した組織運営を支援するため、運営費補助を行った。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	各単位自治会の集合体として相互の連携と、その活動を通じて住民生活の向上を図るとともに、自治会連合会の安定した組織運営のため補助金の助成は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	単位自治会の集合体として複数の自治会を対象とした事業(市街地区敬老会、自治会対抗パークゴルフ大会、札幌雄武会総会への参加等)を実施しており多数の自治会単位から参加が得られた。また、コミュニティ組織の一員として様々な活動に参加していることから、一定の役割は果たしていると判断できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> 下回る	
/課題あり		

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	各種事業を実施することで、各単位自治会との交流により地域づくりに対する意識向上が図られた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

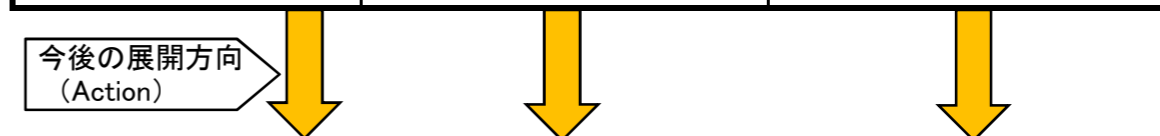
公平	判断の理由	各単位自治会の連合体として、間接的に殆どの町民が加盟する団体であり、また非加盟自治会の市街地区敬老会へに参加も認めている等、公平と判断される。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
単位自治会の集合体として地域づくり活動を担う組織として機能するよう、引き続き支援を継続すべきである。	同左	



継続/現状維持	継続/現状維持	
未加盟自治会の加盟促進と全町的な地域づくり活動への期待を考慮し、今まで同様に運営費補助を行うこととする。	同左	

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止